

河原内科・松尾小児科クリニック

こどもデイケアルームさくら



令和7年 12月

寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じる頃となりました。

クリスマスや年末年始など、家族や友達とお祝いする行事がいっぱいですね。

風邪予防には体を温めてくれる根菜類・免疫力を高めてくれるキノコなどがおすすめですよ。

さくらの年末年始のお知らせについて・・・12/30(火)～1/3(土)はお休みです。

ご不便をおかけして申し訳ございません。来年もよろしくお願いいたします。

良い年をお迎え下さい。

勤労感謝の日にプレゼントを渡しました

勤労感謝の日に合わせて手形と足形の製作をしました。

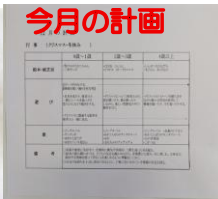
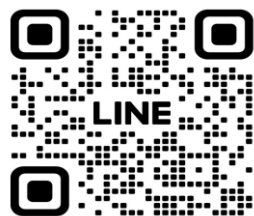
いつもお世話になっている理事長先生と給食の方にカレンダーをプレゼントしました。



公式ラインについての取り組みについて

今年度より、公式ラインを始めています。登録して頂いた方には、お預かりさせて頂いた時にお子様の様子を送らせて頂くだけでなく、毎月一回、前月の病状状況や今月の遊びやおすすめの絵本・歌などを一斉送信させて頂いています。その一例を掲載させて頂きます。

皆様のご登録お待ちしております。



病児保育研修会に参加をしてきました

研修名→第22回 岡山県病児保育協議会

・会場→きらめきプラザ

開会挨拶→青山 興司先生

— プログラム —

◎特別講演

『 児童虐待の早期発見のエッセンス 』

座長:青山 興司先生

岡山県病児保育協議会 会長・青山こどもクリニック 院長

講師:久保 俊英先生

新見公立大学 学部長・岡山キワニスクラブ 会長

—講演要旨—

○児童虐待件数が毎年増加していることはご承知のことと思います。

私は2014年から岡山県児童虐待対策協議会の会長を務めるなど、以前より児童虐待対策に取り組んできています。今回は児童虐待の疫学的・統計学的な実態、各種虐待(身体的虐待・ネグレクト・心理的虐待・性的虐待)の紹介、それらの早期発見法などについてお話ししたいと思います。又、虐待・は負の連鎖を呼びますので、予防の重要性についても触れたいと思います。最後に、自身が主催する岡山県児童虐待対策協議会と社会奉仕団体である岡山キワニスクラブを通じた児童虐待への取り組みも簡単に紹介させていただきます。

◎シンポジウム

—シンポジスト—

◎講演①『病児保育を受け入れ時の急性呼吸感染症検査と受け入れできない疾患について』

更科 俊洋先生 医療法人正崇黒田医院 院長

内容→病児保育を利用する小児の疾患の多くは急性呼吸器感染症です。多くの抗原検査キットが開発され、感染症が細かく診断されるようになってきました。【うらら病児保育園】を運営する黒田医院では、更に多項目(15種類)の感染症を同時により感度が高く検査できる遺伝子解析装置(BioFireSoftFire)を導入しました。診断制度が向上し外来診察には有用ですが、病児保育室では、感染症によって個別保育が必要となり利用率の低下を招きました。病児保育運営では、感染症対応がこれからも主要な課題であると思います。

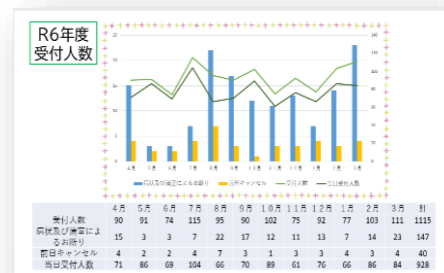
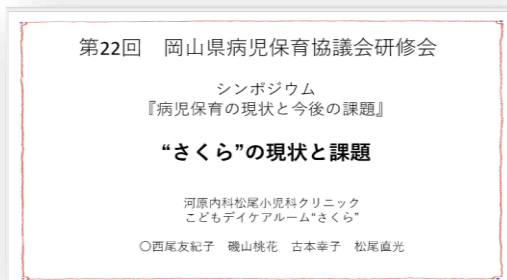


◎講演②『さくらの現状と課題』

西尾 友紀子 河原内科・松尾小児科クリニック
こどもデイケアルーム さくら 保育士



- 内容➡①令和 6 年度の病気の種類や曜日、年齢ごとの集計について
 ②当日キャンセル対応について
 ③公式ラインの取り組みについて
 ④より良い病児保育事業を行う為の現状と課題について



◎講演③『安心できる病児保育を目指して』

～過去の実績から未来へ繋ぐ思い～

薄 敬子先生 青木内科小児科医院 山陽ちびっこ療育園 保育士

- 内容➡①令和 6 年度の実績について
 ②現状を振り返り病児保育の充実を図るにはどう取り組むことが今、必要かについて



◎講演④『未来に繋がる病児保育室になる為に』

滝澤 修子先生 青山こどもクリニック 病児保育あおやま 保育士

- 内容➡①令和 6 年度の利用人数や曜日ごとの傾向について
 ②特殊感染者の取り扱い、予約者のキャンセルなどの問題点について
 ③病児保育の現状と課題について

さくらからのおねがい

- ① キャンセルについて・・・ご利用をキャンセルされる場合、キャンセル待ちをキャンセルされる場合、共に状況が分かり次第、電話連絡をよろしくお願ひいたします。
- ② 衣服や下着の着替えを 1 セットは必ず持たせてあげてください。よろしくお願ひいたします。

◎特別報告

○岡山市病児保育事業における『当日キャンセル対応加算』の導入について
往田 康宏さん 岡山市岡山っ子育成局保育・幼児教育課 病児保育担当

- 内容➡①岡山市病児保育事業の現状について
 ②病児保育事業の課題について
 ③病児保育事業の課題の解決に向けた取り組みについて
 ④病児保育事業を利用しやすくするために



～参加された方からの感想～

- ・他施設の現状や保育室の雰囲気を知ることが出来て分かりやすかったです。当院でも取り入れていける事は取り入れていきたい。
- ・病児保育について予約制であれば当日の子どもの利用人数や病名によって部屋数や職員の人数の調整がしやすいが、当日急な発熱などには対応しづらく満室によりお断りしなければいけないことが多い為、予約制をとっていないからこそ預かれる子どももいる。近隣施設の満室状況の確認が出来るようになればいいのかなと思いました。

～まとめ～

岡山県病児保育協議会主催の研修は、県内の病児保育事業者の情報交流・支援を行い、医師・看護師・保育士・学生等を対象として研鑽を図る事や、保護者の勤務などで、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に医療機関などで病気の子どもを一時的に保育することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図る事などを目的として毎年開催されています。

特別講演では各種の虐待について講話を頂きました。早期発見法や予防の重要性等について教えていただきました。

シンポジウムでは、病児保育の現状や今後に向けて各々の施設の課題等について発表をした後、話し合いを重ねてまいりました。

病児保育は育児と就労とを手助けする支援を行っていく大きな役割を持つ子育て支援事業です。働く保護者・核家族化の増加に伴いニーズが高まっていますが、運営上の課題もあつたり、病名にもよつたりしますが希望者全員をお預かりしてあげてない現状もあります。又、毎日通う場所ではないからこそ見える子どもの姿であつたり、保護者の話が聞ける場所でもあると思っています。

又、病気の時に預かってくれる人がいないから、預けるだけでなく笑顔で行きたいと思ってもらえるように、病児保育の充実を図るにはどう取り組むのがいいのか、医者や看護師と共に日々連携を図りながら今後も取り組んでまいりたいと思います。

今後共、どうぞよろしくお願い致します。